

スイカ後作品目一覧 (6月～翌年2月まで)

「大栄西瓜」の栽培期間は3月上旬から7月下旬までとなっており、栽培期間が終了後の6月頃から翌年の2月頃までの期間においては、西瓜の後作として下記の品目の栽培が行われている。経営体系のなかにおいても「大栄西瓜」+「後作品目」の両輪として重要な位置づけとなっている。

花き (ストックなど)



播種
7月下旬～9月下旬
収穫
10月上旬～2月下旬

小玉スイカ



定植
7月上旬～7月下旬
交配
8月上旬～8月下旬
収穫
9月上旬～9月下旬

メロン



定植
7月中旬～8月中旬
交配
8月中旬～9月中旬
収穫
9月下旬～11月上旬

中玉トマト



定植
6月中旬～7月上旬
収穫
8月中旬～12月中旬

ミニトマト



定植
6月中旬～7月上旬
収穫
8月中旬～12月中旬

キュウリ



定植
7月中旬～7月下旬
収穫
8月下旬～10月下旬

小松菜



播種
7月上旬～12月上旬
収穫
8月上旬～2月上旬

ホウレンソウ



播種
7月中旬～12月上旬
収穫
8月中旬～2月上旬

葉ネギ



播種
5月下旬～10月中旬
収穫
8月上旬～2月上旬

ブロッコリー (秋冬作)



定植
8月上旬～9月中旬
収穫
9月下旬～2月中旬

スイカとの複合品目



長芋・ねばりっこ

定植
4月上旬～5月上旬
収穫
10月下旬～2月下旬



らっきょう

定植
7月中旬～9月上旬
収穫
5月下旬～6月中旬

先輩の声

大栄西瓜組合協議会
新規就農サポート部員
濱口靖志 (令和4年2月就農)

私は町内出身ですが非農家で、西瓜のバイトをきっかけに独立就農を志しました。先輩農家や関係機関から県立農業大学校アグリチャレンジ科での研修を勧められ、先進農家で2年間の実践研修を経て独立しました。就農当初は栽培面で悩む事が多くありましたが、この町は家族のように親身になってくれる先輩農家が沢山います。「大栄西瓜」には100年以上の歴史があり、先輩方が積み重ねてきた栽培・知恵を引き継ぎ、新たなアイデアを出しあって、私も産地に貢献したいと考えようになりました。現在、新規就農サポート部員として新規就農者募集活動や就農後のサポートにも取り組んでいます。ぜひ、私たちと一緒に「大栄西瓜」を作りましょう!!



充実したサポート体制

大栄西瓜組合協議会では、新規就農サポート部(※令和4年度に新設)という専門部会があります。主に新規就農者の確保と就農後のサポートを目的に活動をおこなっており、研修～独立就農～就農後のサポートまで一貫したサポート体制が整っています。



問い合わせ先 (サポートメンバー)

意欲ある相談者の期待に応えられるよう精一杯頑張ります!
お気軽にご相談ください!

■大栄西瓜組合協議会…生産者の組織です。

■JA鳥取中央北栄営農センター

…栽培指導や選果場の運営等、生産者に寄り添いながらサポートする組織です。

■【北栄町】産業振興課(電話:0858-37-3152)

…住まいやくらしのことなどもサポートします。

■【鳥取県】東伯農業改良普及所(電話:0858-52-2125)

…生産者の栽培指導を行います。

移住・定住に関する住居の支援制度は
ホームページでご確認ください
<http://www.e-hokuei.net/2698.htm>



大栄西瓜組合協議会役員集合写真

こんな仲間を待ってます!

- ① 農業に対する強い意志と意欲がある
(農業後継者、IJUターン者)
- ② 北栄町もしくは周辺地域(県中部地区)に居住し、
地元の人と交流ができる。
※なお、圃場及び作業場など就農地は北栄町内であること。
- ③ 起業(就農)のための資金がある
- ④ 就農後「大栄西瓜組合協議会」に加入
※特に③は、ビニールハウスへの投資等も必要になるため、
ある程度の自己資金が必要です。

求める
人物像

大栄西瓜組合協議会
公式Instagram



JA鳥取中央

大栄西瓜組合協議会



「大栄西瓜」産地は、こんなところ。

- 立地** 秀峰大山の麓で、標高100m以下のなだらかな火山灰土(黒ぼく土壌)の地域。5月の日照量が多く、西瓜の栽培に適している。
- 産地** この地に栽培されて、平成19年度で100周年を迎え、全国屈指の西瓜産地に成長し、令和元年6月には地理的表示(GI)保護制度に登録された。
- 農業** 西瓜以外にも、砂丘地でのらっきょう、長芋、ぶどうや、ストックなどの生産が盛んで、鳥取県を代表する農業地帯である。

スイカ生産量
全国トップ
クラス

大栄西瓜の栽培面積、出荷玉数、生産者戸数
(大栄西瓜組合協議会) 2024年

面積 **155ha** 出荷玉数 **996,686玉** 生産者戸数 **194戸**

販売金額 **22億3千万円**

西瓜栽培の流れ

《1年間の作業》

※多くの生産者が専業で働いています。西瓜は3月～6月が作業のピークとなります。

作型	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
ハウス		定植	交配	収穫	(裏作)ストック、葉物などを栽培							
トンネル		定植	交配	収穫	(裏作)ブロッコリーなどの露地野菜を栽培							

作型の特徴
ハウス…ビニールハウス内で栽培することにより作業の軽労化に繋がり、出荷時期が前進される。
トンネル…約2m幅マルチの上にトンネル被覆をして栽培。支柱の長さに応じて「小型」、「中型」、「大型」がある。



経営モデル

経営試算の例(就農5年後) ※労働力2人(家族労働)の場合

大栄西瓜(2月～7月) + 後作(西瓜が終わった後に栽培する品目)

品目	経営面積	売上	支出	所得 ※専従者給与含む
西瓜 + コマツナ	ハウス40a、トンネル40a ハウス40a×3作	1,745万円	1,211万円	534万円
西瓜 + ストック	ハウス40a、トンネル40a ハウス27a	1,621万円	1,069万円	552万円
西瓜 + 抑制ミニトマト	ハウス40a、トンネル40a ハウス20a	1,711万円	1,110万円	601万円

※「専従者給与」…家族の労賃。 ※鳥取県作成の経営試算を参考に、地域の実態や栽培技術習得、減価償却等を反映させて作成しています。

【注意点】 ○後作は様々な組み合わせがあります ➡最終頁参照 ○労働力や機械の有無により栽培できる面積は異なります。
○気象条件や病害虫の発生などにより所得は大きく変動します。

詳細は個別に就農相談を行います。

大栄西瓜の生産者になるまで

就農相談

● 就農相談会 / 県内外の就農相談会にブース出展
まずは農業のこと、地域のことなど、情報収集をします。
実際に現地に行って話を聞くと、わかることがいっぱいあります。

● 就農相談 / 随時、個別対応

農業体験

● 産地体験会 / 6月・10月・3月
農作業を体験してみましょう。自分の体力や農業の適性を知るよい機会です。

農業研修(基礎)

● 研修先 / 農業大学校 アグリチャレンジ科 6・10・2月開講 4か月間
● 研修先 / 農業大学校 スキルアップ研修(短期) 3月開講 4か月間

農業研修(実践)

● 研修先 / 農業大学校 スキルアップ研修(長期) 4・10月開講 1年間
● 研修先 / 先進農家等 アグリスタート研修 2月開始 1～2年間
● 研修先 / 先進農家等 農家で雇用就農 1～4年間

青年等就農計画作成→認定

独立就農

農地・機械・施設など順次取得
5年以内に一人前になって経営安定



研修は最低2年間!

自分に合った研修先を
見つけて技術を身につけます。
研修は最低2年間必要です。
この期間に将来の
「農業ビジョン」を明確にし、
計画作成しながら
就農の準備を進めます。

就農後のサポート

新規栽培者向け勉強会・個別相談会



就農3年未満の生産者を対象に現地圃場での栽培講習会や巡回指導・個別面談を実施し、就農後も栽培面のサポートを行います。

中古資材等の斡旋



産地内で譲渡可能な中古資材の情報を集約し、新規栽培者に斡旋し、生産規模の拡大に必要な資材経費の軽減のためサポートを行います。

■主な支援制度(就農編) 青年等就農計画作成し、認定新規就農者になって支援制度を活用

経営開始資金	地域の今後の中心となる経営体として位置づけられた、就農時50歳未満の認定新規就農者に対し就農直後の経営確立を支援する資金を交付。 交付額:150万円/年(最長3年間) ※前年の世帯所得600万円以下等の制限あり
就農応援交付金	就農初期に係る運転資金、機械施設の整備等に活用できる交付金を交付(経営開始資金受給者は除く) 交付額(月額):10万円/月(最長3年間)
就農条件整備事業	認定新規就農者が経営を開始する際に必要な10万円以上の機械・施設を自らが整備する場合に助成(就農後5年以内) 補助率:1/2 5年間の事業費上限1,600万円 事業費下限30万円/年
青年等就農資金	就農初期に係る運転資金、機械施設の整備に係る資金を無利子で融資。 貸付限度額:3,700万円 標準的な償還期間:12年以内(うち3年据え置き)

【相談先】北栄町産業振興課(0858-37-3152) 東伯農業改良普及所(0858-52-2125)